

# 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場取引所 大

上場会社名 アイサンテクノロジー株式会社

コード番号 4667 URL <http://www.aisantec.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳澤 哲二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務統括本部長

(氏名) 加藤 淳

TEL 052-950-7500

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,003	△3.2	△67	—	△73	—	△81	—
24年3月期第3四半期	1,036	6.4	△64	—	△51	—	△57	—

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 △80百万円 (—%) 24年3月期第3四半期 △58百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	△17.62	—
24年3月期第3四半期	△12.50	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,098	1,080	51.4
24年3月期	2,270	1,174	51.7

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 1,078百万円 24年3月期 1,173百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,650	5.2	50	68.9	50	4.0	30	△23.9	6.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	4,699,600 株	24年3月期	4,699,600 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	92,556 株	24年3月期	92,556 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	4,607,044 株	24年3月期3Q	4,607,044 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びそのご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)P. 2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、EU加盟国に対する信用不安に端を発したユーロへの信用不安は徐々に鎮静化しつつあるものの、リーマンショックから立ち直りに向かう米国経済も回復基調ではありながら依然として力強さは見られず、輸出産業を中心とした厳しい経営環境が続いております。

当社グループの主たる販売市場であります測量市場におきましては、東日本大震災からの復興に向けた調査測量業務の増加に伴い、測量の観測作業に用いる計測機器とモバイルマッピングシステム（以下、MMS）を用いた高精度3次元地図データ作成の需要が堅調に推移する環境にあります。

このような状況の中で当社グループは、新製品「WingNeo INFINITY（ウイングネオ インフィニティ）Ver. 3」へのバージョンアップ施策とライカジオシステムズ株式会社とのアライアンス商材を組み合わせたソリューションを中心とした提案活動を強化すると共に、MMSを活用した高精度3次元地図データ作成への需要を取り込む営業活動を展開してまいりました。また、平成24年5月に国土地理院から公表された「移動計測車両による測量システムを用いる数値地形図データ作成マニュアル（案）」により、公共測量分野においてMMSのさらなる利用が進むと予想され、同マニュアルに基づいたソフトウェア開発を進めるとともに、MMSを活用したソリューションの提案を積極的に進めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,003百万円（前年同期比3.2%減）となり、営業損失は67百万円（前年同期は64百万円の営業損失）、四半期純損失は前期末まで申請を行っていた雇用調整助成金の申請を当期は行わなかったこと等により81百万円（前年同期は57百万円の四半期純損失）となりました。

セグメント別には、次のとおりであります。

#### ①測量土木関連システム事業

当社製品をご利用いただくお客様に向けて新製品「WingNeo INFINITY（ウイングネオ インフィニティ）Ver. 3」へのバージョンアップ施策とライカジオシステムズ株式会社とのアライアンス商材を組み合わせたソリューションの提案活動を強化し、合わせてMMSによる高精度3次元地図データ作成への需要を取り込む営業活動を展開してまいりました。他方、東日本大震災からの復旧・復興事業を支援するため、岩手・宮城・福島の3県における営業組織の強化を図り、積極的な営業展開を進めた結果、前年同期間の実績を超える成果を残しましたが、その他の地域の売上の低迷を補うまでには至りませんでした。

以上の結果から、測量土木関連システム事業の売上高は995百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

本社ビルのテナント賃貸収入により、売上高は7百万円（前年同期比増減なし）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて172百万円減少し、2,098百万円となりました。その主な要因は受取手形及び売掛金が225百万円減少したこと等によります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて78百万円減少し、1,018百万円となりました。その主な要因は長期借入金が43百万円減少したこと、リース債務が35百万円減少したこと等によります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて94百万円減少し、1,080百万円となりました。その主な要因は利益剰余金が94百万円減少したこと等によります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、従来の方法に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	757,141	938,138
受取手形及び売掛金	491,089	266,221
商品及び製品	49,388	82,264
仕掛品	—	916
その他	44,735	44,124
貸倒引当金	△310	△7,397
流動資産合計	1,342,044	1,324,268
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	278,021	274,525
減価償却累計額	△92,853	△93,385
建物及び構築物(純額)	185,167	181,140
土地	341,789	341,789
リース資産	105,526	105,526
減価償却累計額	△32,663	△48,885
リース資産(純額)	72,862	56,640
その他	46,766	47,746
減価償却累計額	△29,440	△34,744
その他(純額)	17,325	13,001
有形固定資産合計	617,145	592,572
無形固定資産		
リース資産	4,721	3,339
その他	95,019	80,852
無形固定資産合計	99,741	84,192
投資その他の資産		
投資有価証券	15,357	25,653
その他	196,991	72,142
貸倒引当金	△330	△330
投資その他の資産合計	212,018	97,465
固定資産合計	928,905	774,230
資産合計	2,270,950	2,098,498

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	94,048	112,727
短期借入金	—	92,500
1年内償還予定の社債	60,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	59,030	61,800
リース債務	46,972	48,381
前受金	123,918	94,398
未払法人税等	10,426	6,644
賞与引当金	26,300	21,539
その他	112,100	75,049
流動負債合計	532,796	553,040
固定負債		
社債	100,000	90,000
リース債務	103,597	67,129
長期借入金	240,970	194,620
退職給付引当金	112,867	108,348
繰延税金負債	156	269
その他	6,176	5,086
固定負債合計	563,768	465,453
負債合計	1,096,564	1,018,494
純資産の部		
株主資本		
資本金	520,840	520,840
資本剰余金	559,863	559,863
利益剰余金	105,676	10,701
自己株式	△12,349	△12,349
株主資本合計	1,174,030	1,079,055
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△648	△101
その他の包括利益累計額合計	△648	△101
少数株主持分	1,004	1,050
純資産合計	1,174,386	1,080,004
負債純資産合計	2,270,950	2,098,498

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,036,124	1,003,161
売上原価	391,527	395,183
売上総利益	644,597	607,977
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	249,911	234,849
退職給付費用	12,130	10,740
その他	447,154	429,475
販売費及び一般管理費合計	709,196	675,064
営業損失(△)	△64,598	△67,086
営業外収益		
受取利息	1,158	1,399
助成金収入	19,739	—
その他	787	735
営業外収益合計	21,685	2,134
営業外費用		
支払利息	6,608	7,572
和解金	1,500	—
その他	773	506
営業外費用合計	8,881	8,079
経常損失(△)	△51,795	△73,031
特別損失		
固定資産除売却損	5	0
投資有価証券評価損	—	500
特別損失合計	5	500
税金等調整前四半期純損失(△)	△51,800	△73,531
法人税、住民税及び事業税	6,134	7,575
法人税等調整額	△203	—
法人税等合計	5,930	7,575
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△57,731	△81,107
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△144	45
四半期純損失(△)	△57,586	△81,153

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△57,731	△81,107
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△785	546
その他の包括利益合計	△785	546
四半期包括利益	△58,516	△80,561
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△58,372	△80,606
少数株主に係る四半期包括利益	△144	45

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。